

しでがの通信  
第61号  
羽津小 P・T・A  
編集発行  
発行所 羽津小学校

# 一年の反省

PTA会長 篠田 勇

早いもので大任を仰せつかりましてから、もう一年になろうとしております。不慣れな私でしたが、本部役員始め、会員の皆様、諸先生方に支えられて、何とか無事に諸活動を消化することが出来ました。

私は年度始めに、出来る限り多くの人が参加して、明るく楽しい活動の出来るPTA作りを目標に掲げました。具体的には、家庭や地域社会と密着した広義の「教育活動」に関連して、学校とPTAのより緊密な連絡を図ること、あらゆる教育環境の整備、それを通して会員相互の理解と研修を図ることを目指しました。その一つ一つに付いて、簡単に反省してみたいと思います。

評を得て学ぶ点が多かったと思いきや、所轄官庁と皆様の御協力で交通事故や非行少年の発生率を低く押えることが出来たこと。  
「カラーテレビの導入やバックネットの建設等は、「教育環境の整備」という点から嬉しい結果でした。しかし、会員相互の理解と研修については、未だしの感が深く、会員全員がいづれかの専門部員として活動して頂くことが、目的達成の近道であろうと考えています。限られた紙面で反省の意も尽くせませんが、此の一年の皆様の助力添へに心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

最後に、任半ばにして御永眠された故市林副会長の御霊に深く哀悼の意を表し、御冥福をお祈り申し上げます。

目次	
一年の反省	1
今年度の反省	2
余暇を生かして	3
卒業生に贈る	6
巣立ちのことば	9
会計報告	15
常任委員会だより	16

## 矛盾をこえて

副会長 平田幸子

あの日(PTA役員推選の日)何故、一言おことわり出来なかつたんだろう？  
何度となく私の胸の中で悔んできたかもしれません。

背のびをしながらの私にとって、この一年間が途方もなく長い月日に感じられてならなかつたからです。

実際、あの時は「まさか」の思いと予期しないことだっただけに口をきくことすら出来なかつた私、ある方に相談したところ「なつてしまつた事はもうならぬし、貴女がやるんではない。やらせていただくんですからね。知恵の働きや、お金や物は要らないんです、貴女は人の上に立つんではない。地面です。人にふまれて、ふまれてその役がはたせるんですよ。」

こんないきさつで、あつかましくも一年間の道のりを、皆様にさ

さえられながら通らせていただきましたが、その時々には教えられたことばかりで、役員の重責をはたすことも出来ず、ただ反省と自分を堀ることのみで、過ぎて終りました。

私にとって、それは貴重な体験であり、修業をさせていただくことが出来ましたけれど、残り少ない任期の今、矛盾を越えて通らせていただいたものの皆様にほんとうに申し訳けなく、はずかしい気持ちでいっぱいです。

「カゴに乗る人、かつぐ人、その又わらじを作る人」私の好きな言葉です。人にはそれぞれの分があり、又道がある故に、皆様に助けられて通ることができたと思えます。





ん。一ヶ月で一ツ出来るもの、一年から三年もかかってやっと完成する時もあります。

週に一度は近くの教室で先生の指導を受け、そんなときは刺しゅうを通じていろんな方との出会いの場所でもあります。

人生経験の豊富な先生を囲み、子供達の成長、教育を始め、パイの焼加減から旦那様のオツマミの作り方迄すべてが楽しく、又、勉強の場にもなります。

決して無理をせず自分に合ったペースで一寸の家事の合間にでもこつこつと刺し埋めていきます。同じお仲間の方々と作品の批評や意見の交換、これからの夢や希望を語り合いながら、私の趣味として長く続けていきたいと思っています。

私の余暇

正木 佐喜

大阪から四日市へ来て早や三年、小さかった下の子も大きくなり私にとって、余暇を考える余裕が出来てきました。いざ何か自分に出来る物とはあれこれと考え、結局、アトフラワールと刺しゅうを週に一度四日市の教室に習いに行くことにしました。

子供が帰ってくるまでに帰るつもりで行くのですが、その時間よりもお遅くなることもあります。

それも、子供にとってはよい勉強になると思います、がんばっています。でも何となく気になるものです。

やはり、子供をおいてゆくといいことは、たいへんなことです。布を切って、染料で染め、それを組立てるのですが、なかなか、手間のかかるものです。何をしてもそうですが、本当にやってみないとわからないものだと、つくづく思いました。

転勤が多いので、深く習うという事は、出来ませんが、その地方独特のものもこれから先いろいろ、やってゆきたいものだと、思い、転勤することのたいへんさも、又新しい物を、吸収出来るものと考え、楽しい方向に持ってゆきたいものだと思っています。

私の時間

中村 広子

私には二人の子供がいます。

この子供達の育児に忙しく、結婚以来自分の習い事など思ってもいなかった私が、一念発起で「きつけ教室」へと思いたった。子供も学校へ、幼稚園へと行く年頃、何かと着物で出かける機会も多くなり、その度に実家の母を呼びに行く、だがそうそう甘えているわけにもいかない。いよいよ「きつけ教室」の第一回目である。週一回二時間が私の時間である。その日

私の余暇

山田 富代

私にとって余暇というのが果してあるのかどうか、ここ二年、あわただしく毎日が過ぎていきます。以前より興味を持っていたおかしやパンを習いに、月に三度ばかり名古屋へ通っています。名古屋までは遠く子供が出ると同時に出不す。時間に束縛されない現状の主婦の座から抜け出て、電車を乗りついで行く。稽古日に限って朝の忙しい中、少しでも多く家事を片付けて出ようと、時間に挑戦するのも結構楽しいものです。その他は、編物、花造りなど広く浅く、そしておしゃべりです。社宅ですりの方々の食べ物や風習など話題も豊富で、なかなかనికిやかです。

ご近所の皆様の稽古されたのを、交換し合って趣味を広めています。年老いて楽しみを持てるように何でも出来るだけ機会があれば参加しようと思っています。

何か一つのことをするにも、やればやるだけ何事も大変なことですが、家庭の主婦である以上、家は一に大切なのですから、あせらず、三十才すぎで一つ一つゆっくり積み重ねて行こうと思いつつ毎日がすぎ去っていきます。



は朝から狭い家の中を走り廻りながら掃除、洗濯をすませ、十時の時間に遅れないようにする。その姿はシーベンのすそをまくりおよそ着物とは縁遠い姿である。だが一歩教室へ入ると、今までのドタバタはどこへやら、すました顔で着物を着る。さあ、変身の始まりです。結婚前の習い事は遊びのような気持でワイワイ過ぎたが今はそうではない、必要にせまられての事だからその顔つきも違ってくる。教室があった日だけでも着物で過そうと思いう着物姿で台所に立ち自分の足もとを眺める。タビの白さがとてもいい感じ、一人でいい気分になっている私の後で「なんだ今日は……」主人のびっくりしたような声、それにつづいて子供まで「お母さん、どこかへ行くの」。私が着物を着ているのがそんなに珍しいのだろうか。まあいい、言わせておけ……。

私は今日習ったばかりの帯の結び方を練習するがどうもうまくいかない。何度も繰返しているうちに手はだるくなるし、気分はイライラ、そんな私を見て我家の二男坊は言う。「一休さんがいつも言ってるよ、あわてないあわてない、一休み一休み……」

母親部の一員として

石田久美子

ピカピカだった一年生のランドセルにも込みが増し、一年間が無事終了しようとしています。

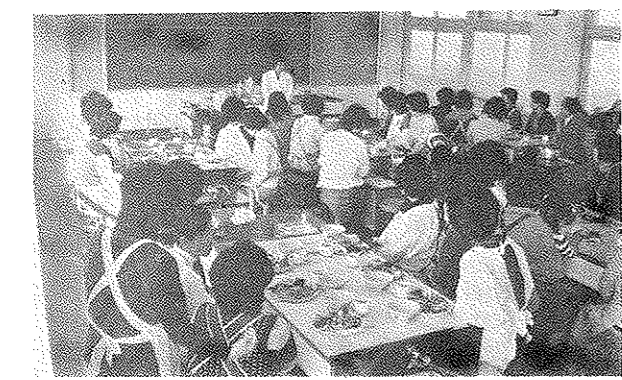
PTA母親部の一員に加えていただいて早や一年が過ぎる訳ですが、何一つ満足にお手伝いできなかったという思いです。

どの行事も、体一つで出席すれば良いだけに、すべて準備が整えられ、その度に役員の方々や、お世話下さった方々に、頭の下る思いでおりました。

家の中の雑事に追われるに任せ、子供と接する態度が利己的で、一方的なものになり勝ちだったり、日々成長する子供においてきぼりされるような淋しさを感じたりして慌てるのが度々の私です。自分なりに勉強したいと思いましたが、なかなか機会がありません。そういう私にとりまして、母親部の行事に参加させて頂くことは、先生方のお話からはもちろん、経験豊かな先輩諸姉との何気ない話し合いの中から、良き刺激を受け、多くのことを学ばせていただく何よりのものでした。

来年度は、自分だけでなく、顔見知りの方々もお誘いして、参加し、勉強させていただこうと思っております。

来春には、長女が中学生になりますので、よい機会だと思いき喜んで参加させていただきます。まず、栄養士さんの話を聞かせていただき、栄養のバランス、調理の方法、経済の面でも工夫なさっていること、本心に感じました。と申しますのは、市販の冷凍食品は全く買わず、ホームフリージングをなさっているという事、夕食用の材料の残りや夕食後の残ったものをフリージングしておくこと、栄養のバランスを



お弁当講習会に

参加して

鈴木 ゆみ

来春には、長女が中学生になりますので、よい機会だと思いき喜んで参加させていただきます。

まず、栄養士さんの話を聞かせていただき、栄養のバランス、調理の方法、経済の面でも工夫

なさっていること、本心に感じました。と申しますのは、市販の冷凍食品は全く買わず、ホームフリージングをなさっているという事、夕食用の材料の残りや夕食後の残ったものをフリージングしておくこと、栄養のバランスを

お弁当講習会に

参加して

藤井 晴子

もうすぐ中学生を控えて今まで学校給食にまかせっきりのお弁当を考え作ってみたくって参加しました。調理室いっぱい参加者で保健所の先生の「健康のためのバランスのとれた食事」について有意義なお話を熱心に聞きました。今まで正しいと思ってやっていた事が、大きな間違いがある事が分かり、バランスのとれた食事が、いかに子供の成長に大切か、今一度考え直す事が出来てよかったです。

さてお弁当作りの方ですが、三献立で十一種類を作りました。見た目がきれいで、安価で、栄養のバランスがとれていて、しかも調理時間が早い事が大切です。どれもこれもすぐ夕食に間に合います。トリの卵焼などは、參觀に見えた教頭先生も「お酒のつまみにいいですね」とおっしゃって……後で皆さんでいただいたのですが、とてもおいしかったです。我が家でもいろいろと組合せて作ってみました。好評でした。

おべんと講習会パートⅡがあればぜひもう一度、参加したいと思っています。



卒業生に贈る

悔いのない

中学校生活を



学校長 村 木 明 義



卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんとの羽津小学校での生活は僅かに二年でしたが皆さんが大変親しみやすくなにごとをするのも熱心によく頑張ってくれました。校長室の窓を外からたいて「先生さようなら」と念をおしながらあいさつをしたり、校長室のそうじにきて、いろいろと家庭の話をしてくださいました。その皆さんが卒業、ちょっとさびしくもなりますが、心からお喜びを申し上げたいと存じます。特に最近になって皆さんの立派に成長された、からだ豊かな心、中学校生活に入っても決して劣ることはありません。

特に中学校生活で一番大切なことは、なにをいっても その日、その日を大切にすることです。学校で勉強したことを、もう一度復習して、悔のない一日にしてほしいものです。今日はつかれたからとか、忙しいから、という怠け心がおきますと遂、その方に流れがちになります。まして皆さんは苦勞のない、幸そのものの今迄です。しかしこれは今迄のような平穩な日ばかりではありません。辛いことも次々と身におしよせてきます。誰でも苦しみを打勝っているのです。

今から五年ばかり前のことですが、私が四日市市の先生等と、共に、木曾の御嶽さんに登山したことがありました。はじめのうちは懐中電灯を頼りに細い凸凹道を頂上を目指して進みましたが、八合目 九合目になると、思うように足が進まず、二三歩で一ふくといった調子でなかなか進みません。

中にはもう絶対に登れぬ、ここから下山するという根性の弱い人、それでも、ここまで来て登れぬとは皆々で、はげましはげまし、やっと頂上にたどりついた思いがありました。頂上にたどりついた時の喜び、又格別でした。今だに参加した先生方と合うと当時の苦勞の話がよく出ます。

皆さんの中学校生活も、クラブでおそくまで体をきたえ、帰ってから 復習に取り組む、ゆっくりした時間もない程ですが、時間を無駄にせず 充実した一日であってほしいものです。

小学校より友達もふえませんが、お互いに相談したり、励まし合ったりして楽しい中学校生活であってほしいと思います。

卒業生に

贈るひとこと

職員から



教師 小塚久美雄  
日々の健康こそが最大の財産だと思います。



六年一組 森 昭雄

苦しみの終りには光に照らされた  
明るい窓がある。



六年二組 菊村 文子

思いやりの  
ある人になろう。



六年三組 伊藤 美穂

中学時代こそ  
鍛えるときに。



六年四組 豊島 久雄

「おたがい」が「おたがい」に  
頼し合える人になってください。



六年五組 水谷 孝子

たくましい  
心と体を.....。



五年一組 川村 審也

どんなに素晴らしいことを思いついても、実行しなくては。



五年二組 田岡美智子

人生、卒業というのはどこにもない。常に今こそ 出発点なんだ。



五年三組 小谷 博美

自分の言った事には、責任を 持つて人になってください。



五年四組 吉岡 照代

卒業おめでとう。さあ、希望に向かって新しい一歩を踏み出そう。



五年五組 松井 妙

身体をきたえ、いつも信念を持って、努力を忘れないように。



四年一組 三村 恵子



四年二組 水谷 敏夫

いつも感謝の気持ちをお忘れの人になって下さい。



四年三組 仲村ゆき子

富士山のはい松は風雪にたえて育つ。みんなは苦難の中で生きよ!!



四年四組 服部みさを

「努力は富なり」 何事にも力一ばいがんばって下さい。



四年四組 高山万千子

自分で決めたことは、必ず実行できる子になってください。



四年五組 高橋てる子

七転八起。何事にもくじけず、最後までやりぬいて下さい。



三年五組 溝口 保子

卒業おめでとう。心身共に、健康な、中学生になってください。



三年四組 大河内そゑ

何事にも 真剣に。そして気楽に。



三年三組 中林 るみ

卒業おめでとう。新しい希望に向かって真直ぐに歩んで下さい。



三年二組 石川 幸弘

自らの限界に挑み、戦いして己れを生かせ。頑張ってください。



三年二組 平野 隆子

毎日の生活は計画的に 一つの事を 永続するよう努力して下さい。



三年一組 安藤 勤

思いやりのある交わりを  
努力で 差がつく。



二年一組 平子伊都子

卒業おめでとう。心のやさしい  
思いやりのある子になって下さい。



二年二組 山田 芳枝

卒業おめでとう。元気で、よき中  
学生に なって下さい。



二年三組 斎藤 雅子

卒業おめでとう。一つ一つの出会いを大切にしてくださいね。



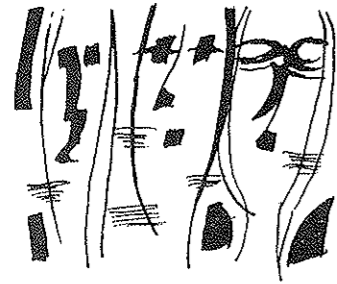
二年四組 門脇 秀雄

卒業おめでとう。自分を大切に  
して、がんばってください。

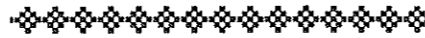


二年五組 長谷部規子

卒業おめでとう。  
一步一步確実に進んで下さい。



# 巣立ちのことば



## 六年一組

中学生になっても、がんばろうと思います。  
二ノ宮功一

中学校にいてもいっしょけんめいがんばります。  
井口 高志

ぼくは、中学生になっても勉強と運動に力いっぱいがんばります。  
山本 和彦

中学校にいても運動に、勉強に、がんばります。  
加藤 元人

中学校がまっているうれい、だけどちょっと心配でもがんばろう。  
大矢 秀彦

なにごとにもたえ、全力でがんばります。  
中村 康則

絶対、非行化してはいけない。泥中の羽津。ちがう、泥中の蓮。  
市岡 卓

卒業おめでとう。頂上への近道はない。一歩一歩前進しよう。  
森 徹也

小学校の六年間は長かった中学校に行ってもがんばりたいとおもう。  
森 俊之

卒業はさみしいがもうすぐ中学生だと思ふとちよっぴりうれい。  
相松 孝宏

御卒業おめでとうございます。母校をいつまでも忘れないうね。  
一年六組 服部あさを

最後までねばり強くがんばってください。(希望をもって前進を)  
体育専科 鏡味 隆雄

「人生に卒業はない。」自分の進む道を全身をつかって見つけよう。  
音楽専科 山本 滋代

よくちびるに歌をもち、心に太陽をもって、胸をはって進んでね。  
関工専科 内山 治男

道端の雑草のように、風雨に負けず がんばって下さい。  
御卒業おめでとう。中学生になってもしっかり努力して下さい。  
矢田 木角

祝卒業 おめでとう。みがげ能力 きたえよ心と体。  
養 護 光子

卒業おめでとうございます。力ある限りがんばって下さい。  
主 事 太田 久子

御卒業おめでとうございます。いつまでも今日の気持ち大切に。  
事務補 川合 淳子

美しい やさしい心を、いつまでも 大切にして下さい。  
用 務 水谷富美子

給 食 伊藤 栄美

給 食 川北 喬子

給 食 後藤 文子

給 食 伊藤としゑ

給 食 大河内サト



宮村いづみ  
羽津小学校の思い出をいだいて、中学校へ向かって出発。

中西 佳子  
六年間のいろいろな出来事は、一生のよい思い出になるでしょう。

山本 道子  
私は、中学生になったら、あまえずに、一生けんめい勉強する。

津滝 香子  
自分の夢を持ち、社会へ飛び立って行く。まっすぐな道を歩もう。

森田 康子  
中学生になったら、失敗なんかにくじけずに、努力しようと思う。

森 淑美  
六年間の思い出と未来への希望をせおって私は明日へと歩んで行く。ふりむかず、前に一歩一歩すすんでいこう。

市川まり子  
一日一日を、たいせつにしたいと思う。

中元由規子  
井上 久美  
私はこの羽津小学校の卒業生である事をほこりに思っています。

山下ゆかり  
この六年間の思い出を大切に、中学生として歩んでいきたい。

中本 早苗  
一つ一つの思い出を大切に、希望を持って一歩一歩 歩んでいこう。

藤井 宏美  
六年間の思い出を心に刻み、中学生になってもがんばりたいと思う。

二年五組 頼美

卒業おめでとう。何事にも、精いっぱい努力をしよう。  
一年一組 小林 秋次

卒業おめでとう。悪いさそいにのらぬよう心をして進むように。  
一年二組 筒井 和子

卒業おめでとう。がんばって下さい。  
一年三組 浜野佐都子

生きがいのある人生を歩もう。時の流れは一瞬も待ってくれない。  
一年四組 広瀬 松代

卒業おめでとう。「雨にも風にも負けず。」がんばってください。  
一年五組 水谷きみ子

御卒業おめでとうございます。母校をいつまでも忘れないうね。  
一年六組 服部あさを

最後までねばり強くがんばってください。(希望をもって前進を)  
体育専科 鏡味 隆雄

「人生に卒業はない。」自分の進む道を全身をつかって見つけよう。  
音楽専科 山本 滋代

よくちびるに歌をもち、心に太陽をもって、胸をはって進んでね。  
関工専科 内山 治男

道端の雑草のように、風雨に負けず がんばって下さい。  
御卒業おめでとう。中学生になってもしっかり努力して下さい。  
矢田 木角

給 食 伊藤 栄美

給 食 川北 喬子

給 食 後藤 文子

給 食 伊藤としゑ

給 食 大河内サト

故きをあたためて  
新しきを知る。  
松永あゆみ

六年間の思い出を いつまでも大切に心の中に残しておきたい。  
廣瀬 由美

もうじき卒業、まだまだはなれたくない羽津小。さようなら羽津小。  
小川智香代

過ぎし日のなつかしい思い出残して私は卒業するさらば羽津小学校。  
山下真須美

中学生になったら、わすれ物のないように心がけたい。  
山本 純子

この羽津小学校を卒業し、ほこりある人間に……。  
久志本徳子

大きな 大きな  
足あとをつけていきたい。  
大林 健二

六年 二組  
中学校に  
いっても、がんばる。  
一圓 俊之

小学校で学んだことを軸として、進んで行く。  
服部 一弥

もう中学生だ。  
これからもがんばろう。  
渡瀬けい子

六年間の思い出さようなら。  
中学へ行ってがんばります。  
林 裕子

中学生になっても、小学校以上にがんばろう。  
六 年 三 組  
伊藤 信一

うれしいような、悲しいような卒業。中学校へ プットバレー。  
江崎 隆浩

大空をまう鳥のように、のびのびと、きまり正しい生活をしよう。  
瀬川 直樹

中学校にいても この六年間の思い出は、忘れないだろう。  
岡田 智昭

これからも、いやなことがあるかもしれないが、がんばろう。  
真野 晴

希望を持って、中学に そして目標に、仲間といっしょにGO!  
坂本 昭人

中学校に入るとむずかしいが、がんばろう。  
藤井 伸基

ぼくは、中学生になったらもっと勉強をがんばってやってみせる。  
(1)

木下 拓也

お世話になった小学校ありがとう。中学校にいてもがんばります。  
寺村 弘

先生方、六年間ありがとうございました。中学になってもがんばります。  
荒木 伸吾

思い出多い小学生生活、お世話になった先生ありがとう。がんばりました。  
木村 正人

六年間ありがとう。がんばりました。中学になってもがんばります。  
佐藤 剛一

中学校に行っても小学校の事は、忘れません。六年間ありがとう。  
清水 恵介

小学生生活をよい思い出として、中学校へいってもがんばる。  
川嶋 秀明

中学生になったら勉強にスポーツにがんばります。  
水谷 一郎

中学校に いったら運動に勉強にがんばりたい。  
川田 雅之

楽しかった小学校時代も終って、中学校に向かって、全速前進。  
古川 靖浩

中学校にいったら、勉強をがんばる。  
早川 和之

六年間お世話になりました。先生も体に気をつけて下さい。  
益城 博文

六年間がんばった。中学校に行っても、勉強にがんばろう。  
森 薫

中学生になっても、一生けんめいがんばります。  
森 国宏

元気いっぱい 何事にも負けず、のびのびすごそう。  
加藤 裕二

中学校に入っても、勉強に運動にファイトでがんばろう。  
森田 茂生

中学校に進んでも、何事にも負けない強い心を大切にしよう。  
上野 浩司

中学校になっても、運動や、勉強や、クラブに、がんばります。  
瀧美 貞男

希望を持ち一歩一歩あゆみ、中学生になってもがんばろう。  
大熊 幸治

中学生になっても、何事にも負けず、がんばろう。  
内山 睦之

樋口 博己

中学生になっても、今まで以上にがんばりたいと思う。  
小泉 卓俊

先生、六年間お世話になりました。中学生になったらがんばります。  
横井 敏之

中学へ行くと、勉強がむづかしくなるけど、やれるだけやろう。  
上垣 恵美

新しい希望と新たな試練に向かつて、旅立つ。小学校よさようなら。  
須藤 由美

中学校では、根性をはつきし、くない中学時代にしたい。  
服部 夏代

楽しかった六年間もすぎっていく。いまは、よい思い出となるだろう。  
村山かつえ

六年間 教えてくれた先生、ありがとう。中学校でもがんばります。  
相松かおり

中学校に行っても、くじけず、がんばっていききたい。  
杉野 由香

自分の進む道をまっすぐ、歩いてゆくには努力を……。  
広瀬 真弓

小学校生活をいつまでもわすれず中学生になってもがんばります。  
森川 千里

お世話になった先生方どうもありがとう。中学校でもがんばります。  
久保田道子

希望に、胸をはずませて 飛びたとう。後ろを 振り返らずに。  
竹田知可子

楽しかった六年間。一つ 一つの思い出が目の前に浮ぶようだ。  
有吉ゆかり

長かったようで、短かった六年間の思い出を心にひめて卒業。  
芝田 洋子

中学校に行っても、六年間の思い出は、忘れないでしよう。  
酒井 直子

他人にめいわくをかけない、良い人間になりたいと思います。  
村山 由美

中学校へいっても、小学校生活をぜったいに忘れません。  
佐藤 三恵

中学生になったら、勉強にはげみ、希望を持っていこう。  
森 美由紀

六年間の 思い出をありがとう。希望を持って、中学校への出発。  
内田 祐子

寺本 陽子

いよいよ私も中学生。お世話になった先生方どうもありがとう。  
山本香奈子

お世話になった、先生方や給食のおばさんどうもありがとう。  
窪田 明美

いよいよ、中学校へ入学。勉強にスポーツにがんばります。  
伊藤 美幸

お世話になった先生方ありがとう。中学生になったらがんばります。  
山田 昌代

あっというまに過ぎ去った六年間今はよき思い出となって行く。  
須藤 聖子

この六年間たくさんのお友達ができました。先生方 ありがとう。  
柳川 優子

小学校で、ならった事を中学校に行っても いろいろ活用したい。  
須藤 裕子

中学校生活をくいのないようになごそう。  
岩見早智子

先生がた、お世話になりました。中学生になってもがんばります。  
藤井 園巳

私も中学生。中学生らしい態度をとって勉強やスポーツにがんばる。  
藤井 園子

楽しい事いっぱい六年間でした。先生、お友達ありがとう。  
黒石 輝美

いつまでも、みんなに 好かれるような、女の子でありたい。  
鷲塚由美子

楽しかった小学校生活もすぎさり、新しい道をあゆもう。  
山本 治子

桜の花びらに、希望をのせて、新しい道へと 進もう。  
藤井 照美

今まで、先生たちにおそわったことを、これからも生かそう。  
加藤紀代美

なきべそ顔には さようなら、ニコニコ顔で中学校へ。  
井上はるみ

美しい大空に夢をつめこみ、まっ白な雲に思い出をのせて出発。  
西塚 和子

羽津小学校の、さくらの花のようにいつもほがらかに。  
千賀 瑞代

長い様で、短かった六年間。この思い出の日々よ、いつまでも。  
森 千鶴

中学校に入学しても、勉強に運動にがんばろう。  
高橋 千里

中学生になっても、将来の夢に向かい、頑張って勉強にはげもう。  
(1)



六年四組

川田 顕  
楽しかった小学校生活を忘れずに  
これからのがんばろう。  
いろいろなことがあった六年間。  
これからのがんばって進もう。  
笹岡 哲也  
中学生になっても勉強や運動にも  
がんばろう！  
倉橋 友弥  
思い出いっぱい心につめてまっす  
ぐすすむばくの道。  
森 雄二  
中学生になったらもう少し運動に  
はげみたいと思う。  
伊藤 保  
ぼくたちは今小学校生活を終わら  
しました。みなさんさようなら。  
松岡 孝一  
中学になったら  
勉強をがんばろう。  
西林 知紀  
中学になっても 今までどうりで  
行きたい。  
早川 義幸  
羽津小学校の長い六年間の楽しい  
生活や思い出よさようなら。  
間島 浩一  
中学生になっても小学校のことを  
わすれずにがんばろう。

大久保弘樹  
いよいよ中学生。新しい道を一步  
一歩前進していこう。  
藤井 裕彦  
学び、遊んだ六年間。母校、恩師  
どうも ありがとう。  
金森 浩之  
六年間の思い出を大切に、中学校  
でも、共にがんばろう。  
安田 克己  
たのしかった羽津小学校さような  
ら、ぼくらの先生さようなら！！  
相松 正也  
思い出深い羽津小学校を忘れずに  
中学も一生懸命がんばるぞ！  
石垣 国典  
中学校に行ってもみんなにまげず  
にがんばろう！  
伊藤 良一  
中学生になっても、勉強や運動に、  
がんばりたい。  
佐藤 晴哉  
六年間 勉強してきた羽津小学校  
さようなら。  
稲垣 玲子  
もう小学生は卒業だ。さあ、中学  
生へ、のびのびと明るく進め！  
宮本 弘美  
小学校の勉強を土台とし、中学に  
なってもがんばりたいと思います。  
宮崎 弘子  
思い出のいっぱいあった羽津小  
学校さようなら ありがとう。

梶 真奈美  
あとすこしの小学校生活を より  
よく行動したい。  
太田さとみ  
低学年の人達先生のいう事をきい  
てがんばって下さい。さようなら。  
福島 順子  
羽津小学校。思い出多い小学校生  
活をどうもありがとう。  
出口 裕美  
さようなら、羽津小学校。また、  
新しい中学校生活の出発だ！  
藤井 明美  
先生、お世話になりました。体に  
気をつけてがんばります。  
佐野 真弓  
小学校の思い出をもって、中学校  
へ行きます。  
花井香代子  
もう小学校生活は終わり、新しい中  
学へ出発する。学校よさようなら。  
村井 紀子  
もうじき、中学生。小学校生活を  
わすれないで 中学校にむかう。  
大沼 優美  
お世話になった羽津小学校  
ありがとう。  
伊藤 紫  
六年間 お世話になった 諸先生  
ありがとうございました。  
伊沢 則子  
小学校生活を胸に残して、中学校  
へ行っても勉強や運動にがんばる。

木下真由美  
つらい事、悲しい事があっても、  
けっして笑顔をわすれない。  
出口 好栄  
六年間の小学校生活の思い出を、  
心に思い中学校へ入学していく。  
塩谷太佳子  
楽しかった小学校生活、一生忘れ  
ることは、ないだろう。  
奥岡 玲子  
いつも明るく、  
笑顔をわすれない。  
浜松 恭子  
中学生になってもこの六年間の思  
い出を忘れない。  
神田 明美  
一分一秒を、大切にして、よりよ  
い生活を おくろろ。  
酒井美穂子  
小学校生活の思い出を もって、  
中学校へ 進歩して行きます。

伊藤 智康  
羽津小よさらば。中学生になっ  
たら勉強にも、運動にもがんばりたい。  
龍田 浩幸  
「立つ鳥後をにごさず」のように  
学校をきれいにして巣立ちたい。  
葛山 雄一  
中学校に行ったら  
がんばりたい。  
児玉比呂司  
中学生になったら  
勉強にがんばろう。  
藤井 善謙  
中学生になったら、なにごとにも  
せいっぱい がんばろう。  
前田 尚志  
楽しい小学校生活も終りだ。中学  
校へ行ったら、＼がんばるぞ！  
荒木 照彦  
中学生だ。やる気と、新しい気持  
ちでやっていきたい。  
竹内 茂  
中学生になったら、もっと有意義  
に すごしたい。  
辻 太  
六年間一番にがてだった体育。  
中学へいったら体育をがんばろう。  
木下 隆義  
もうすぐ中学生だ。小学校生活も  
終りだ。中学校でも、がんばろう。  
伊藤 喜治  
中学校に行ったら、運動や勉強に  
はげみたい。

鹿島 寛  
中学校へいっても一日一日を大切  
にすごそう。  
渡辺 靖弘  
中学生になっても小学校生活をわ  
すれない。  
浦 秀樹  
中学校に行ったら  
がんばろう。  
川村 勝治  
さあ 中学生だ。これからは、新  
しい気持ちでがんばろう。  
伊藤 邦明  
小学校生活もあとわずか。これか  
らは、もっとがんばろう。  
森 俊之  
楽しくすごした六年間。先生、友  
達ありがとう。決して忘れない。  
佐佐 理絵  
何事にも責任をもって、  
行動しよう。  
渡辺加津代  
私たちが、入学してからあっとい  
う間に、六年間がすぎってしまった。  
鈴木さゆり  
思い出多い小学校生活。中学校に  
行っても、決して忘れない。  
久保 実起  
六年間、どうもありがとうござい  
ました。中学でもがんばります。  
出口ちづる  
思い出いっぱい羽津小学校。中  
学校へ行っても決して忘れない。

原 陽子  
中学校での生活は、小学校以上に  
楽しく、くいのないようにやろう。  
堀木 朋代  
自分の歩く道は険しいかもしれな  
いが、でも乗り越え、頑張ろう。  
服部 由香  
希望を持って、あすへ向かう。何  
事も最後まで、やりぬこう。  
近森 篤子  
楽しかった小学校生活。小学校と  
も別れ、もっとがんばっていく。  
津田 栄美  
とっても楽しい小学校生活だった。  
大好きな羽津小学校、さようなら。  
杉山 朱美  
今日という日を大切に、未来に向  
かってふみだそう。  
加藤 愛子  
楽しかった思い出を持って新しい  
世界の旅路を歩いて行こう。  
森 志伸  
六年間お世話になった先生方の指  
導を基に、これからのがんばろう。  
北村久仁子  
立派な心を持つため、学校のため  
になることを、何か進んでしよう。  
森 みこ  
これからは、一日一日後悔のない  
ようにすごしていきたい。  
森 文美  
六年間の思い出を胸の中にしまっ  
て中学校へ行きます。

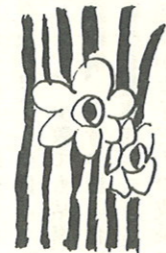
伊藤 博之  
中学生になったら、とくにクラブ  
をがんばりたい。  
伊東 克浩  
もうすぐ中学生だ。だけど、六年  
間の思い出は、わすれない。  
山本 実  
中学校へ行ったら良い思い出が多  
くできるようながんばりたいと思う。

伊藤 智康  
羽津小よさらば。中学生になっ  
たら勉強にも、運動にもがんばりたい。  
龍田 浩幸  
「立つ鳥後をにごさず」のように  
学校をきれいにして巣立ちたい。  
葛山 雄一  
中学校に行ったら  
がんばりたい。  
児玉比呂司  
中学生になったら  
勉強にがんばろう。  
藤井 善謙  
中学生になったら、なにごとにも  
せいっぱい がんばろう。  
前田 尚志  
楽しい小学校生活も終りだ。中学  
校へ行ったら、＼がんばるぞ！  
荒木 照彦  
中学生だ。やる気と、新しい気持  
ちでやっていきたい。  
竹内 茂  
中学生になったら、もっと有意義  
に すごしたい。  
辻 太  
六年間一番にがてだった体育。  
中学へいったら体育をがんばろう。  
木下 隆義  
もうすぐ中学生だ。小学校生活も  
終りだ。中学校でも、がんばろう。  
伊藤 喜治  
中学校に行ったら、運動や勉強に  
はげみたい。

鹿島 寛  
中学校へいっても一日一日を大切  
にすごそう。  
渡辺 靖弘  
中学生になっても小学校生活をわ  
すれない。  
浦 秀樹  
中学校に行ったら  
がんばろう。  
川村 勝治  
さあ 中学生だ。これからは、新  
しい気持ちでがんばろう。  
伊藤 邦明  
小学校生活もあとわずか。これか  
らは、もっとがんばろう。  
森 俊之  
楽しくすごした六年間。先生、友  
達ありがとう。決して忘れない。  
佐佐 理絵  
何事にも責任をもって、  
行動しよう。  
渡辺加津代  
私たちが、入学してからあっとい  
う間に、六年間がすぎってしまった。  
鈴木さゆり  
思い出多い小学校生活。中学校に  
行っても、決して忘れない。  
久保 実起  
六年間、どうもありがとうござい  
ました。中学でもがんばります。  
出口ちづる  
思い出いっぱい羽津小学校。中  
学校へ行っても決して忘れない。

原 陽子  
中学校での生活は、小学校以上に  
楽しく、くいのないようにやろう。  
堀木 朋代  
自分の歩く道は険しいかもしれな  
いが、でも乗り越え、頑張ろう。  
服部 由香  
希望を持って、あすへ向かう。何  
事も最後まで、やりぬこう。  
近森 篤子  
楽しかった小学校生活。小学校と  
も別れ、もっとがんばっていく。  
津田 栄美  
とっても楽しい小学校生活だった。  
大好きな羽津小学校、さようなら。  
杉山 朱美  
今日という日を大切に、未来に向  
かってふみだそう。  
加藤 愛子  
楽しかった思い出を持って新しい  
世界の旅路を歩いて行こう。  
森 志伸  
六年間お世話になった先生方の指  
導を基に、これからのがんばろう。  
北村久仁子  
立派な心を持つため、学校のため  
になることを、何か進んでしよう。  
森 みこ  
これからは、一日一日後悔のない  
ようにすごしていきたい。  
森 文美  
六年間の思い出を胸の中にしまっ  
て中学校へ行きます。

村上ひろみ  
六年間の小学校生活の思い出、も  
う卒業だなんて、うそのようだ。  
この六年間お世話になった人たち  
ありがとう。中学でもがんばります。  
岩本由美子  
楽しかった小学校生活も、もう終  
ってしまう。とてもさびしい。  
伊藤 美香  
「苦しみ」の向こうにある、「喜  
び」目ざしてがんばろう。  
卒業にあたって  
中森 笑子  
光陰矢の如し、と申しますが、  
月日の経つのは早いもので、あと  
一ヶ月余りで小学校生活を終わら  
うとしています。長いようで短か  
った六年間、何よりも健康で楽し  
く登校させていたゞけた事に感謝  
の気持ち一杯です。  
その六年間のうち、四年生迄伊  
賀上野で、高学年を羽津小学校で  
お世話になった彼の小学生生活。山  
国で育った彼には、海を真近かに  
ながめることが出来る生活に目を



昭和52年度 P T A 会計中間報告 1月末現在

歳 入		予 算	収 入
P T A 費	P T A 会費	1,410,000	1,417,080
	前年度繰越	70,158	70,158
	利 息	0	2,299
合 計		1,480,158	1,489,537

歳 出		予 算 額	支 出 額
P T A 運営費	P T A 事務費		207,510
		交 際 費	61,080
		需 用 費	60,060
		会 議 費	0
		役 務 費	200
P T A 活動費	一 般 活 動 費	負 担 費	86,170
		賃 金	年度末支払い
		報 償 費	28,980
		旅 費	41,500
		需 用 費	△227,560
	児 童 福 祉 活 動 費	報 償 費	0
		旅 費	△7,400
		需 用 費	0
		負 担 費	0
		負 担 金 交 付 金	0
学 校 運 営 援 助 費	学 校 管 理 援 助 費		178,650
		需 用 費	41,185
		役 務 費	40,000
		備 品 費	0
		負 担 金 交 付 金	△97,465
	教 育 振 興 援 助 費		127,270
		報 償 費	13,500
		旅 費	27,450
		需 用 費	24,900
		備 品 購 入 費	△61,420
子 備 費	子 備 費	0	
	子 備 費	0	
合 計		1,480,158	818,870

輝かせていました。釣りに夢中になり、夜づり、海づり……リールとやらの手入れに精を出し、夏はプール、軟式野球……忙しく友達とかけまわりました。

彼にとつて、転校によってすばらしい友に出会い、恵まれた環境で思い切り飛びまわった小学生生活を送ることが出来た事、一生忘れないこと、思います。羽津小学校の思い出を大切にのびのびと大きく成長してくれる様祈っております。

卒業を迎えて

森田 祥子

六年前の二月初旬、四日市駅に下り立った私の目に入ったのは、雪。それも晴天というのに、北風に吹かれ、どこともなく散る花弁の様な雪。今思えば一年中で一番寒い時期であり、子供には、冬の一番うれいプレゼントでした。

四季折々、春のつみ草、夏の海の家、暗い内に起きて出かけた秋の松茸狩りと、さまざまな自然の恵みの中で、六年間を過ごした事は、これからの人生に於て、かけがえない思い出としていつまでも心に焼き付く事でしょう。

入学当時から卒業を迎える今日までの小学生時代を、子供に願ったのは、楽しい日々を過してほしという事でした。

幼児期から、少年期に移行する六年間を、学校、学級、友達という小さい様で大きい、大きい様で小さい社会の中で、喜び合い、傷つき合い、悲しみ合い、憎しみ合いながら、人間として次第に成長して行く姿を見る事は、何物にもまさる素晴らしいドラマと思えます。色々な意味で混乱した現代で、一番求められるのは、まづ思いやりの心を持つ事ではないでしょうか。又、教多く耳や目に入る情報にまどわされないで、自分の意志を強く持ち、相手の気持ちを忘れず、明るく健康に過せたらと願うのはどちらのご家庭でも同じ事ではないでしょうか。

中学生という心身共に目を見張る成長時期を、小学生時代に経験した様々な事柄から得た教訓を土台として、楽しい事ばかりではない、むしろ苦しみの方が多いかも知れない日々を、強く逞しく送って、くれる事を心より祈っております。

子どもの卒業に思う

松岡 純子

P T A に関する事、と言う事で投稿依頼を受けましたが、今迄に投稿させて頂いたものと同じ事になりませんので、何を書いたらよいか、依頼をお断わりしようか等と迷った上、この紙面をお借りして

先生方に御礼を申し述べさせて頂きます。本来ならばお一人づつ御目にかかって御礼を申し上げるのが本当でございますが、それもならず、横着な事でごめん下さい。

今から六年前、桜の花のふぶきの中を手を引いて校門をくぐりました。そのたくさんの子ども達もつぶらな瞳を見て、本当に幸せに育って欲しいと思っただけでなく、先生も同じ気持ちでいて下さった事と思います。その子ども達は、良い友と協力し合い、良い先生との人格的な触れ合いの中で、学校でしか学ぶ事の出来ない尊いものを充分身につけました。今では私の背丈より大きく、目方も負けてしまいました。小学校に入学した時の純真なつぶらな瞳は少年期を迎えたはちきれそうな体から力強い何物かを持っている瞳に変わっています。先生もう一度卒業生をよく見てやって下さい。どの子どもも大きく立派に育ちました。親のひごだけでここまで大きくなったと思いはっておりません。

諸先生に頭が下がります。本当にありがとうございます。しでがの投稿も今回で御しまいです。子どもと一緒に私も卒業をさせて頂きますが、最後に一言。確かに教育界は混乱をきわめておりますけれど、前にも申しました通り、学校、家庭、社会の三者

しか教育の場はありません。本音を話し合える場を学校と家庭で作って欲しいと思います。

川に例えるならば学校と家庭は、右岸と左岸、どちらが弱くても決壊します。清い水がとうとうと流れ畑を潤おし、水力発電に利用されてこそ良い水です。決壊した水は、人も家も押し流してしまいます。良い水として生かしたいと願って、これを望む方向へと導いて行くのが右岸と左岸、学校と家庭です。一方だけがいかにか護岸工事を堅固にしても意味のない事で、両者ががっちり腕を組んで始めて願う方向に向かうのだと思います。私にしようとして出来なかった事を、今後のP T A 会員さんにお願ひ致します。少教でも結構、井戸端会議結構、本音の話し合いの出来る場所を是非作って下さい。それが健やかな子どもの成長にきつと役立ちます。今後も子どもの健やかな成長を願って努力されん事を望みます。





# 常任委員会だより

## 第八回常任委員会（十二月八日）

- 一、経過報告
- ・ T V 学習について
  - ・ 両親学級について
  - ・ しでがの六十号編集会議
  - ・ バックネット工事着工
- 二、議事
- ・ 十二・一月行事について
  - ・ 安全部冬休み中の街頭補導について
  - ・ 料理教室の延期について
  - ・ スポーツ少年団の育成について
  - ・ 少年サッカー
  - ・ 少年剣道
  - ・ 一年教室用ストロップの購入について
  - ・ 焼却炉、フェンスの修理について
  - ・ その他

## 第九回常任委員会（一月十八日）

- 一、経過報告
- ・ バックネット完工式
  - ・ サッカーと剣道ユニホームの件
  - ・ 安全部地区内街頭補導実施
  - ・ もち切り、ぜんざい給食用
  - ・ 三学期中の行事について
  - ・ 料理講習

## 第十回常任委員会（二月九日）

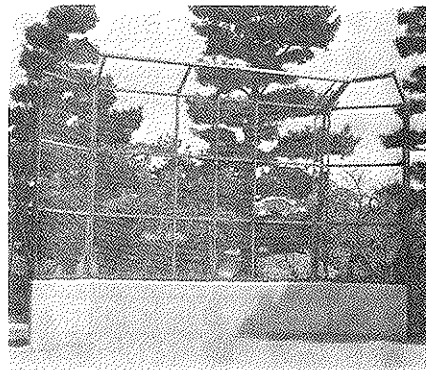
- 一、議事
- (1) 二月行事予定と実施について
- ・ 学習参観と懇談会について
  - 二月二十四日（金）
  - ・ 立哨委員会、安全部合同会議について
- (2) 各町代表、町委員等の選出について

- ・ しでがの編集会議
  - ・ 学習参観と学級懇談会
  - ・ 立哨委員会
  - ・ しでがの六十一号発行
  - ・ 保険団体代表会
- 二、学校行事報告
- ・ 二年長谷部先生、お産のため市教育委員会より浜田先生を派遣
  - ・ 三年平野先生病欠のため各教室へ分教授業
  - ・ 新年試筆作品展
  - ・ 校内研修会 二年生対象
  - ・ 来入児就学児健康診断
  - ・ その他

出来るだけ出席していただける方を、各町にて人選されるよう会長より依頼

## バックネット完成

PTA会員の皆さまにご協力いただきましたバザーの収益金で、こんな立派なバックネットが完成いたしました。子ども達も大変喜んでおります。紙面をお借りしてお礼を申し上げます。



ですく  
さいど

・ しでがのは  
学校家庭会話の場  
人の言う

・ 新聞で  
味のある字は読み難し  
誤字を見つけて苦笑い

・ しでがのは  
役員さんの花ざかり  
しでがので  
書く喜びを教えられ

・ しでがので  
いいたい事を一寸書き  
辞書を手に

・ 辞書を手に  
原稿読んで勉強し  
苦勞して

・ 苦勞して  
部会の後はさすがし  
校正の合間に

・ 校正の合間に  
話しの花が咲き

・ たまに出る  
文句ばかりの多い事

・ 巢立つ子に  
強く生きよと祈るなり

・ しでがのに  
フライトを  
燃やしたこの一年

## 編集委員

- P 村山、佐野、金森、出口榮  
内山、伊藤、一圓、加藤  
久保、岡本、松永、小川健  
酒井、寺本、河瀬、小川良  
水谷、広瀬、島田、小川健  
出口備
- T 内山

